

名古屋市とメキシコ市は1978年2月に姉妹都市提携し、来年度40周年を迎えます。『名古屋・メキシコ姉妹都市提携40周年イベント』では、メキシコでリリースされたメキシコ人、日本人作曲家によるギター、マリンバとエレクトロニクスによる作品集CDからの5作品を含んだコンサートになります。ギターとエレクトロニクスの為の4作品は、各々の世界初演を行っている佐藤紀雄による再演。マリンバ作品は、若手奏者の松田康介。マリンバとギターによるメキシコ民謡作品を含み、メキシコ文化を映像とともに紹介。メキシコからは、作曲家のロドリゴ・シーガルが来日予定。音楽とともに、メキシコ文化に触れることのできる滅多にない機会になります。

出演者プロフィール



佐藤紀雄(ギター) *Norio SATO, guitar*

1951年生まれ。1971年(現)東京国際ギターコンクール優勝。以後、ギター演奏と指揮活動を広範囲に行ってきた。ギター演奏においてはクラシックレパートリーの他、武満徹、高橋悠治、近藤謙、松平頼暁、福士則夫、その他多くの作品の初演、また指揮者としても内外の新しい作品の初演を含め数多く演奏している。海外からの招聘も多く、これまでにパリ、ニューヨーク、ハンブルク、ロンドン、メルボルン、北京、メキシコ、デンマーク、フィンランド、エストニア、ブルッセル、アントワープ、ハバナ、イタリアなどでリサイタルや各地のアンサンブルと共演してきた。1997年にアンサンブル・ノマドを結成し音楽監督として毎年定期演奏会を開いてきた。またアンサンブル・ノマドでも海外から多く招かれ、ハッダースフィールド音楽祭、ガウデアムス音楽週間、モレリア音楽祭など主要な音楽祭で演奏してきた。1990年、京都音楽賞(実践部門賞)、1994年、中島健蔵賞、1996年、朝日現代音楽賞、2002年、アンサンブル・ノマドとして第二回佐治敬三賞を受賞。ギター・ソロのCD、アンサンブル・ノマドのCDなど多数リリースしている。桐朋芸術短期大学、青山学院短期大学、また日大芸術学部各ギター科で後進の指導にあたっている。



松田康介(マリンバ) *Kousuke MATSUDA, marimba*

1992年 長崎県生まれ。上野学園大学卒業、現在愛知県立芸術大学博士前期課程。マリンバを山ヶ城陽子、小森邦彦、打楽器を岡田全弘、深町浩司、各氏に師事。第11回九州音楽コンクール 管打楽器部門で金賞受賞。第34回・35回高校生音楽コンクールにて2年連続金賞及び全九州大会への推薦を受け、35回全九州大会において金賞及びグランプリを受賞。第43回長崎県新人演奏会出演。またアウトリーチ演奏活動を数多く行う。2011年には演奏グループカーサ・フェリーチェを結成。首都圏の福祉施設を中心に慰問演奏を行い、SONY学生ボランティア・フェスティバルより奨学金(Aコース)を受けハンディキャップ支援のフェスティバル「ハートフルフェスティバル」を開催(2013)。上野学園大学主催 平成27年度文化庁大学を活用した文化芸術事業「音楽を学びほぐす」にて音楽ワークショップのレクチャー講師、サントリーホール主宰レインボー21「フンメル先生とその時代」にてフンメルに扮してのナビゲーターなど、演奏外活動も行う。



ロドリゴ・シーガル(作曲) *Rodrigo SIGAL, composer*

1971年メキシコ市生まれ。メキシコ市の音楽研究・リサーチセンター(CIEM)作曲学部を卒業し、ロンドン市立大学のエレクトロ・アコースティック・コンポジション学部博士課程修了。マリオ・ラヴィタスによる作曲ワークショップに参加。デニス・スマレイ、ジャヴィエール・アルヴァレス、フランコ・ドナトーニ、ジュディス・ウィアード、マイケル・ジャレル、アレハンドロ・ヴェラスコ、ファン・トリゴスらに師事する。メキシコ国立大学の音楽学部でポストドクターを修了。現在、メキシコ音楽とソニック・アーツセンター(CMMAS)所長(www.cmmas.org)。カルチャー・マネージメントのディプロマも保持し、メキシコ内外で芸術的、教育的な活動を続けている。



伊藤美由紀(作曲) *Miyuki ITO, composer*

愛知県立芸術大学、マンハッタン音楽院修士課程修了後、コロンビア大学(ニューヨーク)で作曲をトリスタン・ミュライユに師事、博士号を取得。文化庁芸術家在外研修員としてIRCAM(フランス国立音響音楽研究所)にて研鑽を積む。世界各国のコンクール、音楽祭に入賞、入選し、国内外で作品の発表を続けている。また、ニッフェアール、JUMPの代表として自主企画公演を定期的に展開。ニッフェアール第10回公演は、第14回佐治敬三賞受賞。《時の砂》がALCD80からリリース。ミラノのスヴィーニ・ゼルポーニ出版社からフランコ・エヴァンジェリステイ国際作曲コンクール優勝作品《古代の息吹をしのぶ。》の楽譜出版。執筆活動として、『音楽現代』に特集記事や公演批評を掲載。メキシコの音楽雑誌「Ideas Sonicas」に自作品の分析論文(英語)が掲載。現在、名古屋芸術大学、千葉商科大学非常勤講師。http://www.miyuki-ito.com



岩本渡(作曲) *Wataru IWAMOTO, composer*

愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻及び同大学院修了。第50回日本音楽コンクール作曲部門第1位。日中友好交歓特別演奏会で管弦楽作品を発表。以降、愛知「わかしゃち国体」の競技用音楽、入場行進曲の作曲、フィギュアスケート本田武司の競技用音楽の編曲、NHK BS番組のテーマ音楽、「愛・地球博」EXPOドーム映像コンテンツの音楽や劇場版アニメ「ボトムズ・ファインダー」のサウンド・トラックを担当。また、「第120回ダーレム音楽の夕べ」(ドイツ)、CMMAS主催「現代音楽コンサート」(メキシコ)において、電子音響や映像を取り入れた作品を発表。国際コンピュータ音楽会議ICMC-SMC2014(ギリシャ)入選。女性合唱のための「女の愛と生涯」や金管バンド曲集「JBクラブ」などの編曲出版。また、キーボード奏者としても幅広く音楽活動を行う。現在、名古屋芸術大学教授、愛知県立芸術大学、大同大学非常勤講師。



田中範康(作曲) *Noriyasu TANAKA, composer*

東京生まれ。国立音楽大学附属高等学校を経て、国立音楽大学作曲科・器楽科(オルガン専攻)を卒業。作品は、日本、アメリカ、韓国などの放送メディアや、ドイツ、フランス、北欧、ベルギー、韓国、アメリカ、メキシコなど世界各国の音楽祭などで、著名なアーティストの演奏により広く紹介されているほか、『室内楽作品集Vol.1』(VMM 2011、1994)、『室内楽作品集Vol.2』(VMM2036、2002)、『田中範康作品集』(ALCD-87、2011)、『田中範康作品集II』(ALCD-103、2014)に収録されている。また、『Twilight』、『Air』がマザーアースより楽譜出版されている。現在、名古屋芸術大学音楽学部、同大学院音楽研究科教授。日本現代音楽協会会員、日本作曲家協議会会員、日口音楽家協会会員。